



# 神出の樹

平成25年7月31日発行  
県立神出学園  
神戸市西区小東野30  
078-965-1122

学園の行事を中心に、神出の様子をみなさんにお知らせする学園通信「神出の樹」平成25年度7月号をお届けします。

## 『チャレンジ！「海での体験」』

7月2日（火）、学園生27名とスタッフ10名が淡路島での「海での体験」に出発しました。大きく揺れる「威臨丸」で鳴門の激しい渦潮を見学したのち、国立淡路青少年交流の家の入所式で宿泊体験の決意を新たにしました。夕方のバトミントン大会では、学園生とスタッフがダブルスを組み親睦を深めました。今日は色々な体験をしたので、学園生はしっかり食べてよく寝ました。

2日目は強風のためカッター研修を大縄跳び大会に変更しました。学園生とスタッフを3チームに分けて何回飛べるかにチャレンジし、集中力とチームワークを培いました。藍染め体験では、おそろいのTシャツに個性的な柄をつけていきました。夜のキャンドルサービスでは一人一人がろうそくに火をつける演出に加え伝言ゲームや神出クイズといった企画もあり、楽しい時間を過ごせました。

最終日はクオリティーの高いウエスティンホテルでのバイキング昼食に舌鼓をうち、全員が無事に「海での体験」を終えました。

今年の「海での体験」は、学園生が主体となって計画し運営することに重点をおいた、チャレンジする体験活動と位置付けました。悪天候のため急な変更もありましたが、自分たちで考え行動した体験活動でした。沢山の思い出がみんなの心に刻まれた淡路島での「海での体験」。仲間とのふれあいと共にいつまでも心の財産として大切にしてくださいね！





### < 神出学園スタッフの「座右の銘」 >

貞本範之さん（心理スタッフ）

#### 「今の自分はこどもの頃になりたかった自分か？」

高校生の時「10年後の自分に手紙を書こう」という授業がありました。私は“紆余曲折しながらも諦めずにカウンセラーを目指している自分”に手紙を書きました。年齢的にはカウンセラーになっていてもおかしくないのに、なぜか私はカウンセラーを目指している自分しか想像できなかったのです。そして10年後、現実・・・想像したとおり普通のサラリーマンで、上司に怒られながらあまり好きでもない仕事をこなしていました。そんな日々の中でふと頭をよぎったのがその時の作文との問いかけです。周りに対する不平不満ばかり言う自分を「こどもの頃の自分が見たら嫌だろうな」と思いました。それがきっかけで再び目標に向かうことを決めたのです。

サン＝テグジュペリ著『星の王子様』の中に「どんな大人もかつてはこどもだった。しかしそのことを覚えている大人はほとんどいない」という一節があります。生まれてから今まで自分は一本道の上を歩いてきました。大人もこども一本の道でつながっているんだと思います。そしてその道はまだまだ続いていきます。

皆さんはこどもの頃に憧れた大人に近づいていますか？

※夏休み明けの登園日は、9月2日（月）です。元気な顔をみせてくださいね！

